

## 百四十五年の歴史の重み

校長 一条 秀雄

11月19日(月)、島守小学校は、創立145周年を迎えました。また、今年は、田代小学校と統合して2周年となります。それを受けての収穫感謝祭・創立記念祭を12月1日(土)に開催しました。多くの保護者、ご来賓の皆様にお出でいただき、盛大に行うことができました。保護者の皆様のお手伝い、指導を受けながら、子ども達は餅をつき、餅を伸して、切りました。また、これまでの学習の成果を発表する「生活科・総合的な学習の時間発表会」でもよくがんばりました。

今年の学校田での米づくりは、4・5年生の「総合的な学習の時間」の学習の中での活動でしたが、田植え、稲刈りは、1年生から6年生まで全校で行いました。今年は、102kgほどのもち米を収穫することができました。5学年の学年委員長さんを中心とした4・5年生の保護者の皆様、さらには、学校田の水管理や雑草取り等のお世話をしてくださった地域の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年は、創立記念祭にかかわるお話として、島守小学校の移り変わりについてスライド画像を見ながらお話ししました。145年も続く島守小の歴史は、とても重みのあるものです。説明しながら改めて感じました。

午後からの「生活科・総合的な学習発表会」は、以下の内容でした。各学級とも工夫されたすばらしい発表でした。来場の皆様から大きな拍手を頂いていました。

- 1年…わたしのあさがお、田うえ・いねかり体験、サツマイモうえ・ほり体験
- 2・3年…ソバ打ち体験、まちたんけん
- 4・5年…米づくりに挑戦
- 6年…炭焼き体験学習、修学旅行、地域安全マップづくり

収穫感謝祭・創立記念祭にお出でいただいたご来賓、保護者、地域の皆様に心より感謝申し上げます。今後も、本校教育活動の充実並びに子ども達の健やかな成長のため、より一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 自分自身が一生懸命生きること

11月10日(土)、11日(日)の2日間、青森県PTA研究大会が八戸市において開催されました。本校からもP会長、P副会長、校長、教頭が参加しました。2日目の記念講演が大変印象深く、少しお伝えしたいと思います。講師は、池間哲郎さんです。池間さんは、沖縄県出身で、アジア各国の貧困地域の撮影・調査・支援を行っている「NPO法人アジアチャイルドサポート代表理事」を務めています。悲惨な状況にある子どもや女性、ハンセン氏病患者への支援を「ボランティア」として取り組んでいます。映像制作会社経営(自身は、現役のカメラマン)の傍ら、自己資金と会員の会費をもとにボランティア活動を続けておられます。(学校づくり、井戸づくり、医療支援、食糧支援等)

講演の中で最もインパクトを受けたのは次の言葉です。「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命に生きる」という言葉でした。この言葉は池間さんの自己体験から自然に出てきた言葉だそうです。次に示すのは、池間さんの話を短くまとめたものです。

◆【フィリピンのスモークマウンテンというゴミ捨て場で、そこに住む(ゴミ捨て場に家族で住んでいる。)素っ裸で懸命に働く5歳くらいの男の子に出会いました。最初は「可哀想だなあ。」と思ったそうです。しかし、しばらく見ていたら、自分の中で信じられないことが起きたのです。突然、目から涙がポロポロ流れてきました。そして「こんな小さな子どもさえも必死に生きている。それなのにオレは一体、今まで何をしていたのだ。恥ずかしい。」「真剣に生きていかないと、この子たちに失礼だ。」と心から思いました。そして、今までの自分の無残な人生、生き方に深く反省したそうです。そして次のように断言しています。「一生懸命生きるからこそ自分の命も他人の命も尊いと思えるのです。真剣に生きてこそ、人の痛みや悲しみは胸に伝わってくると思います。最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命に生きることです。】(引用 池間哲郎著「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命に生きること」現代書林)

心に染み渡る言葉でした。このことは、ボランティア活動をするためだけの言葉ではないと思います。子ども達も、私たち大人もそうあるべきだと思います。一生懸命勉強をする子、一生懸命運動をする子、一生懸命生活している子、色々なことをがんばろうとしている子を、私たちは、応援し、支えていきたいと思っています。

## 江戸時代の島守(その30)

天保4年(1833)6月20日

「島守郷は上田の場所故、畑返しに成る様な場所は揚水を仰せられるならば、先達て御沙汰の通り畑返しに年より三ヶ年は畑高に据え置く」

島守は良い田がたくさんある所なので、畑返し(畑を田に改造すること)を勧め、その田は3年間年貢を安くするという通知です。

田は場所により、日当たりや水はけなどの条件が違うため、穫れ高が違います。江戸時代は、田を穫れ高により、上田・中田・下田・下々田と等級をつけていました。

八戸には上田が全くない地区もたくさんありました。「島守郷は上田の場所」とあるように、昔から米どころだった様子がわかります。

南郷歴史民俗資料館 古里 淳



## 収穫感謝・創立記念祭

12月1日に収穫感謝・創立記念祭を行いました。学校田でとれたもち米をついて、お餅にしました。そして、学校園でとれたニンジンや小豆なども使って、お雑煮やあんこもちにして食べました。創立記念祭では、島守小学校145年をお祝いして「島守小学校讃歌」を歌い、おめでとうの気持ちを伝えました。



1年生も小さな杵で餅つきです



さすが、大人の息の合った餅つき



繭玉をミズキにつけて飾りました



つくたてお餅の食べ放題です

## 生活科・総合的な学習の時間の発表会



1年生 葉っぱのドレスを着てダンス



2・3年生 そば打ち体験の発表

## おめでとう～表彰の記録～

八戸市お話し弁論大会

佳良賞 6年 松石 七海さん

文集「はちのへ」

入選 3年 中村 淳之介さん

青森県発明工夫展

奨励賞 6年 松石 七海さん

八戸市発明工夫展

教育長賞 6年 松石 七海さん

銅賞 6年 館 里緒さん

6年 門口 昊志さん

5年 田名部 魁さん

奨励賞 6年 築瀬 心好さん

5年 住澤 徠人さん

## 2,3年生親子学習会

～そば打ち体験～

11月16日に2,3年生が「そば打ち体験」をしました。そば打ち名人の松石さんに教えていただきながら、子どもたちは楽しそうにそば打ちを体験しました。最後には、天かすとねぎを入れて、とてもおいしいおそばが完成しました。



## 行事予定(12月)

- 1(土) 収穫感謝・創立記念祭
- 3(月) 振替休業日
- 4(火) 教育相談 ～7日
- 2・3年生クリスマス会 (於: 社会福祉協議会)
- 5(水) 校内漢字・計算テスト A校時 (15:20下校) 集金日
- 6(木) 委員会
- 7(金) ALT学校訪問日
- 12(水) 全校活動(登校班反省) 全校道徳(赤十字の紙芝居)
- 13(木) クラブ
- 14(金) 参観日 移動図書館
- 19(水) 全校活動(クリスマス集会)
- 20(木) クラブ
- 21(金) 2学期終業式 児童下校14:30 スクールバス14:30
- 24(月) 冬期休業 ～1月14日